

## 【上郡町】 校務 DX 計画

文部科学省「GIGAスクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議提言」に基づく次世代の校務デジタル化に向け、文部科学省が公表した「GIGAスクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」に示されている、教育委員会及び学校が教育 DX を推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現するため、本町において、次に掲げる事項を重点的に推進する。

### 1. 校務支援システムのクラウド化

学校現場において様々な校務で利用している校務支援システムについては、現在オンプレミスで運用している。今後、学習 e ポータル等汎用クラウドツールと連携し、教職員間の負担軽減・コミュニケーションの迅速化や活性化を可能とする環境を構築するため、文部科学省「次世代の校務デジタル化推進実証事業」の状況や先行自治体の導入事例を注視しつつ、校務支援システムの次期更新時のクラウド化を目指す。

### 2. 校務効率化に向けた各種クラウドツールの活用

本町では、「Google Workspace for Education」や保護者連絡アプリを用いており、教員・児童生徒・保護者・教育委員会間の連絡にクラウドツールを活用することで、業務の効率化を図っている。

今後は、1人1台端末の活用で蓄積された学習系データを収集・分析・可視化する管理ツール（教育ダッシュボード）を構築し、情報の効果的な活用を図るほか、会議のオンライン開催や積極的な既存・新規ツールの活用を通じて、より一層の業務効率化・職員の負担軽減を推進する。また、各種クラウドツールの活用にあたっては学校間・教員間で格差なく活用できるように、ICT支援員による継続した支援を行う。

### 3. FAX・押印の見直しに向けての検討

令和5年12月に文部科学省が公表した「GIGAスクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」に基づく自己点検結果の報告によると、保護者・外部とのやりとりで押印・署名が必要な書類があり、クラウド環境を活用した校務 DX を大きく阻害していることが指摘されている。

本町においても全ての小中学校で FAX・押印の原則廃止まで至っていないことから、緊急連絡時や教育ネットワークの不具合時、FAXの方が電子メール等より効率的な場合など一部を除き、FAX及び押印の原則廃止に向け、各種関係機関及び学校と関わりのある事業者に対して教育委員会から慣行の見直しを依頼するなど、継続的に働きかけを行う。

### 4. ペーパーレス化の推進

本町では、保護者連絡アプリによる保護者間の連絡のデジタル化、児童生徒への各種連絡のデジタル化により、ペーパーレス化を推進してきた。

今後は、各種クラウドツールのさらなる活用により、職員間の情報共有資料・会議資料のペーパーレス化を一層推進する。